

次世代へ住み継がれる2×4工法の二世帯住宅

今回のリフォーム事例は、元々二世帯住宅としてお祖母様が暮らされていた1階スペースに、数年間、住まわれたI様ご夫婦から、和室を子ども部屋にしたいとのご相談がありスタートしました。

建物の構造を検討したうえで、壁の撤去や位置変更を伴う大規模なリフォームプランを作りました。ツーバイフォー住宅は躯体が頑強で構造ルールが明確であるということと、自社で建てた住宅だっ

たこともあり、お客様に安心していただけるご提案ができました。

I様のご両親には、木の住まいならではの温かみのあるデザインと、歳月を経ても変わらないしっかりしたつくりにご満足いただいております。世代を超えて暮らし継ぐお手伝いできて大変うれしく思います。

(三井ホーム㈱ 関西オーナーサポート部
神戸リフォーム事業室 植村さくら氏)

1 邸設計・施工 / [三井ホーム㈱](#)



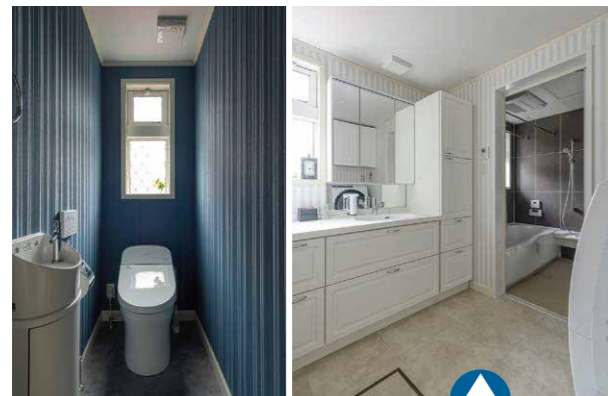
外観は2つの切妻屋根が特徴。1邸では新築以来、定期的なメンテナンスが施されてきた。

(右)内装が一新された主寝室。収納も改善されウォークインクローゼットが設置された。
(下)動物柄のアクセントクロスが使われた子ども部屋。窓とクロークが新設された。



(右)水まわりの配置が見直されて、以前より広くなった洗面室。「使い勝手もデザインも気に入っています」と奥様。

(左)トイレのクロスは、ご主人がシックな紺をセレクト。以前とは趣が大きく変わった。



狭かった洗面室。

納戸を活用してシューズクロークを設置。家族用玄関となり、ここからもホールへ上がれる。

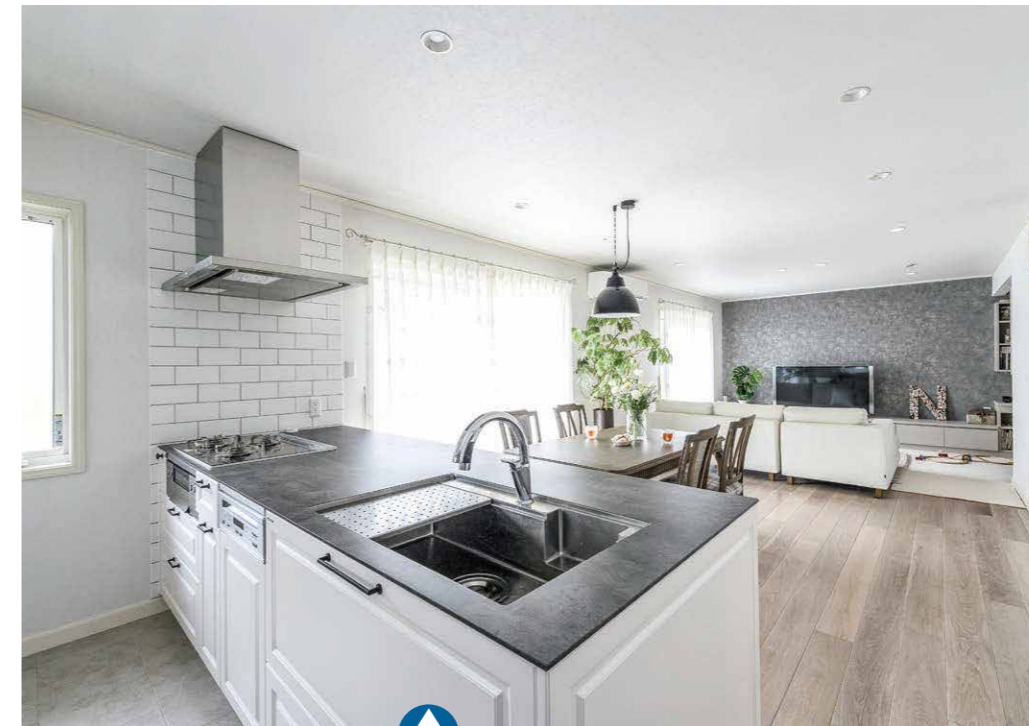


■子育てしやすいオープンLDKを創出
夫妻の要望を受け完成したのは明るく開放的なLDKです。構造を検討し、南側の和室を壁ごと撤去して、キッチンを移動させたことで、調理中もお子さんを見守れます。収納の改善も図られ、主寝室のクロークはウォークインクローゼットに変更。水まわり全体を移動させることになりましたが、これがキッチン移動の提案につながりました。玄関には土間続きのシューズクロークが設けられました。子ども部屋は、親世帯の1階和室を一回り小さい洋室にし、納戸をなくすことで実現。「和室は使っていないなかったのでむしろ嬉しい提案でした」とお母様は話されます。

■若夫婦が二世帯住宅の1階をリフォーム
数年前に実家の二世帯住宅の1階を受け継いだIさん夫妻は、お子さんの誕生をきっかけに子ども部屋をつくりたいとリフォームを計画しました。依頼を受けた住宅会社は「マイホームを新築する感覚でリフォームを楽しんでいただきたい」と、若夫婦のライフスタイルに合わせて1階を全面改築するプランを提案。「こんなにガラリと変えられるんだと感じました」と夫妻は振り返ります。



和室を撤去し、独立していたキッチンを南側に移して、明るく開放的なLDKに。床の間・押入があったところにはテレビボードや本棚、デスクカウンターがつけられ、アクセントクロスが貼られた。



LDの奥に6畳の和室があった。



キッチンとつながるハッチがあったダイニング。



独立していたキッチン。

二世帯住宅を受け継いで新築のように一新

兵庫県 1邸

住み継ぐツーバイフォー

2×4
リフォーム

After
Before

DATA

リフォーム年 / 2019年3月
築年数 / 19年
規模 / 2階建て
建物面積 / 1階121.09㎡ (36.63坪)
2階113.99㎡ (34.48坪)
リフォーム面積 / 1階部分111.16㎡ (33.63坪)